

■避難行動計画の掲載項目について

【凡例】 赤文字：地震 青文字：津波・風水害 緑文字：土砂災害 黒文字：その他全般

項目	第1回策定会議で出された意見（浜北区）	掲載項目（案） ※太文字は、他区の意見を参考に追加	知りたい度				追加したい内容
			A	B	C	点数	
①災害の基礎知識・ 基礎情報	<ul style="list-style-type: none"> ・延焼想定 ・液状化の状況 ・避難水位計の位置を周知 ・土砂災害危険箇所 	1 地震と津波の発生メカニズムと被害想定					
		2 洪水のメカニズムと被害想定					
		3 土砂災害のメカニズムと被害想定					
		4 過去の災害履歴紹介					
②その他の知識	<ul style="list-style-type: none"> ・古い家屋の耐震構造調査方法（アドバイス） ・避難するための心得（電気、ガス、戸締り、家族への連絡等） ・避難所における備蓄品の量 ・非常持ち出し必要物品 	5 普段からの備え（非常用袋準備リストなど）					
		6 けがの際の救護方法					
		7 ペットの対応					
		8 避難所の紹介（場所、設備、備蓄品など） 9 自主防災隊組織の紹介					
③意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・常に災害や防災について頭に入れておく ・自分の身の安全を守る ・自助努力 ・落ち着く ・家族のルールづくり 	10 各家庭、地域ごとの避難経路設定のすすめ					
		11 自助、共助の大切さの訴え					
④高齢者・要援護者・ 災害弱者	<ul style="list-style-type: none"> ・災害弱者の所在が分かるマップ ・災害弱者のための車いすの保管場所（⇒マップへの反映） ・災害弱者の支援方法 ・障害がある方に対する理解 	12 要援護者などの避難行動（普段からの備え、災害時の対応など）					
⑤情報収集・伝達	<ul style="list-style-type: none"> ・同報無線による連絡方法 ・避難所における安否確認の方法 ・停電時の情報収集手段（大雨） ・避難指示者の明確化（学校、職場、スポーツ等） 	13 自ら災害情報を得る方法					
		14 家族、仲間などの安否確認方法					
		15 各種情報の種類（避難勧告・指示の違い、サイレンの種類など）					
		16 情報伝達体制					
⑥発生前の減災方法		17 家や塀などの耐震化のすすめ					
		18 家の中の備え（家具固定、家具配置の工夫など）					
		19 初期消火方法の紹介					
⑦災害発生後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・避難の判断基準（避難すべきか、自宅に留まるべきか） ・避難のタイミング 	20 とっさのときの身の守り方					
		21 地震や津波の避難のタイミングと行動ポイント					
		22 洪水時の避難のタイミングと行動ポイント					
		23 土砂災害の避難のタイミングと行動ポイント					
		24 掃宅困難者対応の紹介					
		25 外国人の対応（避難方法の周知、意識啓発など）					
⑧防災マップ	<ul style="list-style-type: none"> ・河川決壊危険箇所 ・土砂災害の危険箇所 ・避難所の周知・明確化（昼夜・休日） ・障害者のための避難所の周知 ・避難所、連絡場所、避難経路 ・ライフラインの危険箇所 ・地域で避難経路を書き込める白図 	26 各災害の被害想定（ハザードマップなど）					
		27 各災害の危険箇所（災害履歴など）					
		28 各種避難所、幹線避難路					
		29 防火水槽などの防災設備					
		30 病院、救護所などの医療施設					
		31 標高、地形情報など					